

## 目的

本市の道路や河川等施設の維持管理における業務の効率化を図るため、現状や課題を整理し、民間企業の技術力やノウハウを活用する「包括的民間委託」の導入の可能性を調査する。



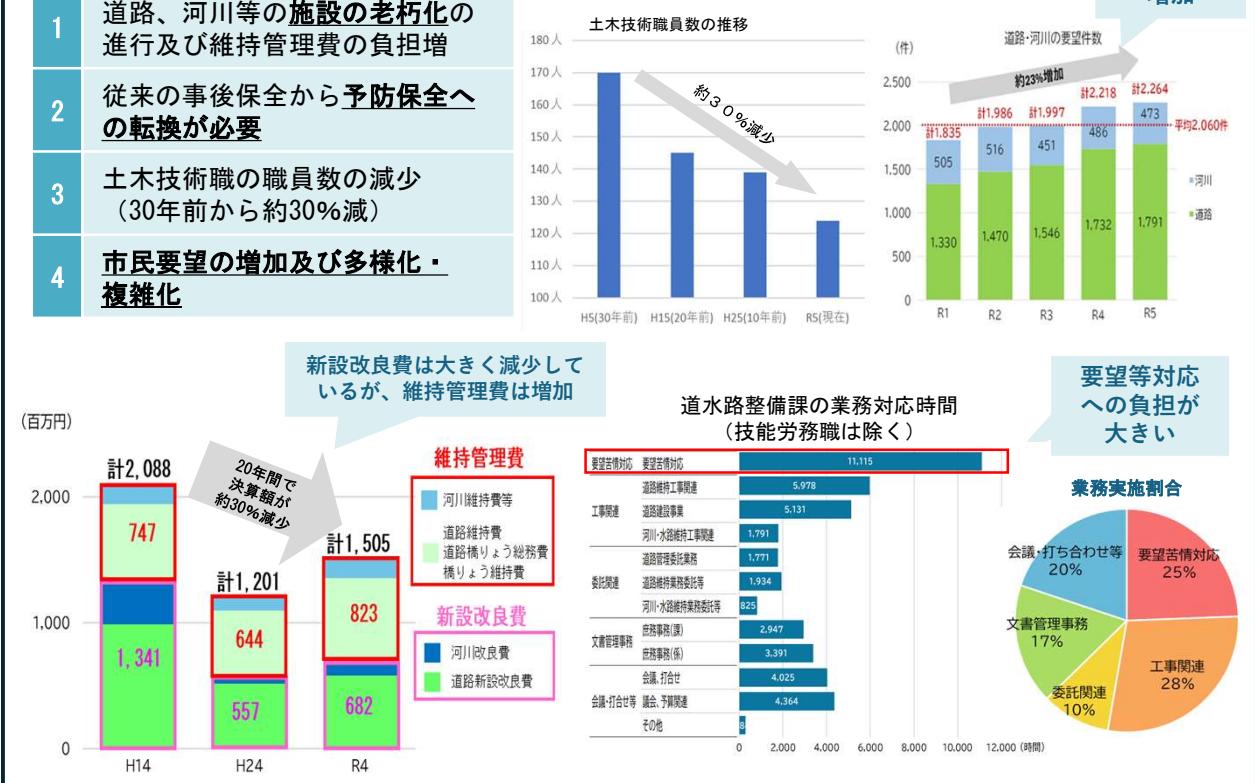
## 調査のポイント

- 事業者との意見交換会、アンケート調査、サウンディング調査を通じて事業者にとっても有益な業務内容を検討
- 神奈川県内の近隣自治体へもアンケート調査を行い、道路施設等の管理における本市の課題の洗い出しを実施
- DX技術を活用した道路施設等の管理手法を調査し、包括的民間委託においての活用を検討
- 更なる業務の効率化を視野に入れ、占用等許認可事務の包括化の可能性も検討
- 府内で管理者の異なる複数のインフラ施設を包括的民間委託による一元管理が実現可能か検討



## 現状・課題

- 道路、河川等の施設の老朽化の進行及び維持管理費の負担増
- 従来の事後保全から予防保全への転換が必要
- 土木技術職の職員数の減少（30年前から約30%減）
- 市民要望の増加及び多様化・複雑化



# 道路施設等の包括的民間委託の導入可能性調査業務（概要版）

## 市場調査等及び導入効果の検討

### 市場調査等

#### ◆ 意見交換会

- 市内の土木建設事業者を中心に意見交換会を実施（139社中33社が参加）



本市から検討に至る課題や背景の説明を実施  
事業者からの質疑応答

#### ◆ 事業者向けアンケート調査

- 45社から事業者アンケートの回答を受領
- 事業範囲、事業期間、実施体制等について多くの意見を聴取できた。

#### ◆ 近隣自治体アンケート調査

- 神奈川県内の近隣自治体に道路施設等の維持管理に関するアンケート調査を実施し、本市の状況を客観的に評価

職員数に  
対し広い  
面積を管理



#### ◆ サウンディング調査（個別ヒアリング）

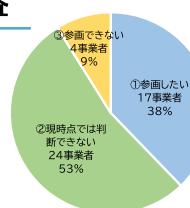
- エントリー方式で18社が参加

#### ◆ 今後の包括的民間委託導入検討に対する主な意見

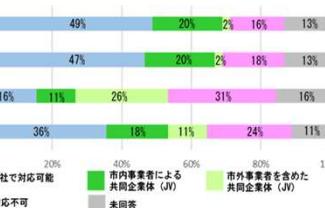
- 閑散期にも市の業務が実施できるので、年間を通じた業務の平準化が期待できる。
- 包括により受注機会が減ってしまう不安がある。
- できるだけ市内事業者だけで対応できる委託にしてほしい。
- コールセンター業務や複数の業者を統括する業務は市内事業者では対応が難しい。
- 包括により災害に強い組織になってほしい。



#### Q: 参画の意向は？



#### Q: 業務ごとの体制は？



## 事業展望

### 委託内容の検討

各段階の目指す姿に従って委託エリアや業務項目等を検討した

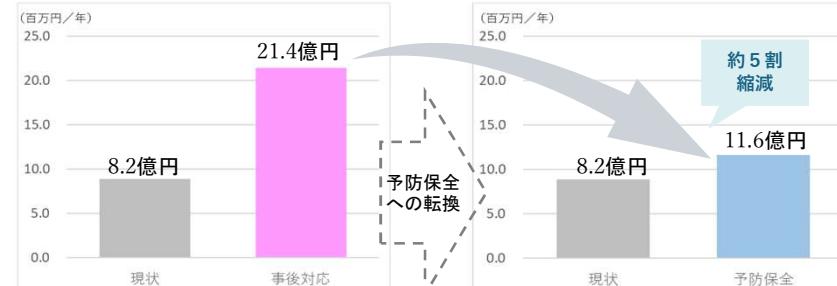


### 導入効果の検討

### 導入によるインフラ保全の長期効果

包括的民間委託の導入により、従来の事後対応から、施設に不具合が生じる前に対策を行う予防保全への転換が進む。これにより、30年後には年間の管理費用が約5割縮減できることを試算した。

#### <予防保全への転換による道路施設等の年間管理費用の変化>



⇒包括的民間委託の有効性を確認

### 段階的な拡大のイメージ

- 業務内容等を限定した試行的業務を実施し、DX技術の活用も踏まえながら、段階的な業務範囲の拡大を目指す。
- 将来的には管理者の異なる施設や占用等許認可事務等への展開も検討する。

